

広島神楽定期公演 無観客公演ライブ配信

11/28 **土** 12:00~ 亀山子ども神楽団 14:00~ 亀山神楽団 16:00~ 茂田神楽団 18:00~ 大森神楽団

 12時～ 亀山子ども神楽団 『葛城山』 かつらぎざん

かめやまこどもかぐらだん

亀山子ども神楽プロフィール ～広島市～

私たちは、現在小学1年生から中学3年生の25名の会員で活動しています。広島市安佐北区にある亀山公民館にて毎週金曜日、亀山神楽団の団員さんの指導により練習に励んでいます。神楽舞の基本や、ルールなど、限られた時間の中、会員全員が鍛錬する事で感謝の気持ちやあいさつをモットーに、皆さんに喜んで頂けるよう努め、私たちの神楽を見て笑顔になり感動して頂けるよう活動しています。また、先人が築き継承してきた神楽に対し存続できるよう努めて参りたいと思います。

あらすじ

武名高き源頼光(みなもとのらいこう)は重い病に掛かり弱り果てていました。大和の国、葛城山に住み着き天下をかく乱させようと狙っている土蜘蛛の精魂は、頼光の病を幸いにと侍女胡蝶(じじょちょう)を取り喰らい、典薬の神の秘薬と偽り病に伏したる頼光に毒薬を盛って差し出します。ついに念願を果たしたとばかりに襲い掛かる土蜘蛛の精魂ですが、逆に頼光に伝家の宝刀「膝丸の剣」で一太刀浴びせられ、正体をも見破られて葛城山へと逃げ帰ります。頼光は我が身を救った宝刀、膝丸の剣を「蜘蛛切丸」と改め、四天王の占部季武(うらべすえたけ)、碓井貞光(うすいさだみつ)に授け、土蜘蛛征伐のため葛城山へと向かわせます。四天王は土蜘蛛の妖術を蜘蛛切丸で切り払い、激戦の末、土蜘蛛を退治するという物語です。

 14時～ 亀山神楽団 『日本武尊』 やまとたけるのみこと

かめやまかぐらだん

亀山神楽団プロフィール ～広島市～

亀山神楽団は昭和47年亀山地区において数名の神楽経験者により結成され、亀山神楽同好会として発足しました。昭和61年名称を亀山神楽団と改め、現在20数名で活動しております。主な活動は地域の四季の祭りへの奉納神楽、各種イベントへの出演、福祉施設の慰問等です。これからも地域の行事に積極的に参加し、神楽を愛し、舞えることを喜び、伝統芸能の継承保存につとめ、地域の皆さんに愛される神楽団を目指し、団員一同精進してまいりたいと思います。今後とも温かいご声援とご支援をよろしくお願い申し上げます。

あらすじ

時は十二代の帝 景行天皇(けいこうてんのう)の第二子 倭男具那尊(やまとおぐなみこと)は天皇の勅命を受け、熊襲の頭・川上梟帥(かわかみたける)一統征伐のため、九州は筑紫国へ下ります。尊が筑紫に到着し、梟帥の館を窺ったところ、館の新築祝いの宴会を催していました。尊は一計を案じ、旅の女に姿を変え、館に一夜の宿を所望します。梟帥はこれを受け入れ、尊に酌をさせます。その夜、尊は剣を手に梟帥らの寝室に切り込みます。激しい戦いの末、梟帥らを討ち果たしますが、梟帥はその死の間際、「大和の国にはこのような強い皇子がいたのか。これよりは我が名を一字取り、日本武尊(やまとたけるのみこと)と名乗らせたまえ」といい、尊は以降 名を『日本武尊』と改めるという物語です。



16時～ 茂田神楽団 『戻り橋』 もどりばし

もだかぐらだん

茂田神楽団プロフィール ～三次市～

三次市君田町(旧君田村)茂田地区では、おおよそ180年以前、出雲石見地方より神楽を習い伝承してきました。茂田地区では古くから砂鉄採取が盛んに行われ、砂鉄労働者の安全祈願と農家の五穀豊穡を願い奉納されてきました。昭和48年頃には戸数も減り、後継者不足のため、神楽存続が出来なくなり、村内一円で団員を募り「君田村茂田神楽団」と団名を改め、存続して参りました。その後三次市との合併により、「茂田神楽団」として団員一同心を新たにがんばっております。これからも地域文化発展のため、がんばって参りたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

あらすじ

大江山に住む酒呑童子の配下・茨木童子は、美女に化相して夜毎、京都の羅生門・戻り橋あたりに出没して都民たちに災いをかけていました。源頼光の家人、四天王の渡辺綱が主命を受けて征伐に向かい、茨木童子と合戦になります。茨木童子の妖術により渡辺綱は倒され、一命が危うくなります。ここに、石清水八幡のお告げによって四天王の一人坂田金時が加勢し、茨木童子は左の腕を切り取られますが、大江山へ逃れ去っていくという物語です。



18時～ 大森神楽団 『悪弧伝』 あっこでん

おおもりかぐらだん

大森神楽団プロフィール ～広島市～

大森神楽団は、明治の初期から氏神社である大森八幡神社(広島市佐伯区湯来町伏谷)の奉納を第一義として活動してまいりました。台風による災害時を除いて奉納の伝統を守ってきたことは私どもの誇りです。また、神楽の可能性を求めていく過程において幸いにも、様々な行事に奉納する機会を得ることができるようになり、大変感謝致します。古き良き神楽の伝承にも心を配りつつ、地域に根付いた神楽団として先輩たちの神楽への熱い情熱を良き伝統として引き継ぎ、『大森神楽』を皆様にお届けしたいと考えております。

あらすじ

平安時代中頃、中国より渡ってきた金毛九尾の狐は、玉藻前と姿を変えて鳥羽の院に仕え、王位を倒し国を滅ぼそうとします。しかし、陰陽師安部清明播磨守安親(おんみょうじあべのせいめいはりまのかみやすちか)に正体を見破られると、下野(しもつけ)の国那須野が原へと逃れます。里塚に隠れた金毛九尾の狐は、姿を変えては悪行を重ね、人々を悩ませますが、勅命を請けた三浦介(みうらのすけ)・上総介(かずさのすけ)という弓引き名人によって成敗されるという物語です。

今後の予定

12/5 土

12:00～	14:00～	16:00～	18:00～
有田子ども神楽団	有田神楽団	郡山子ども神楽団	吉田神楽団

12/6 日

10:00～	12:00～	14:00～	16:00～	18:00～
飯室神楽団	穴笠神楽団	鈴張神楽団	下五原神楽団	宮乃木神楽団

12/19 土

12:00～	14:00～	16:00～	18:00～
あおぞら子ども神楽団	上中調子神楽団	松原神楽団	琴庄神楽団